

「75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める陳情書」を討論

これから団塊の世代を迎えて、75歳以上の後期高齢者はますます多くなります。その中で政府は、単身者年収200万円以上、複数年世帯年収合計320万円以上に対し、後期高齢者の方々の医療費窓口負担を2割に引き上げることを決めました。若い世代の方々でも単身で年収200万円以上得るのは容易ではありません。陳情書の中にも、高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきとあります。また、将来若い世代の方々の負担が増えることも不安に思います。多古町の後期高齢者の一人当たりの年間医療費は75万4631円で千葉県54市町村のうち49番目、また外来及び調剤

反対



反対討論
橋本 孝之 議員

若い世代への負担増に不安

これから団塊の世代を迎えて、75歳以上の後期高齢者はますます多くなります。その中で政府は、単身者年収200万円以上、複数年世帯年収合計320万円以上に対し、後期高齢者の方々の医療費窓口負担を2割に引き上げることを決めました。若い世代の方々でも単身で年収200万円以上得るのは容易ではありません。陳情書の中にも、高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とすべきとあります。また、将来若い世代の方々の負担が増えることも不安に思います。多古町の後期高齢者の一人当たりの年間医療費は75万4631円で千葉県54市町村のうち49番目、また外来及び調剤

の平均医療費は31万1168円で千葉県では一番下でもあります。これは皆様の予防と健診のためでも、大変喜ばしいことであり、これからも後期高齢者の方々が元気で毎日を送っていただきたいと思うところでございます。また、国は3年間の間は1カ月の負担額を最大でも3千円に収まる措置を導入する予定としており、後期高齢者の方々の負担を減らす措置を行う予定です。以上のようなことから、私は陳情に反対いたします。

賛成



賛成討論
菅澤 博隆 議員

町民の命を守るため採択を

今議会に提出され、総務厚生常任委員会でも不採択となりました。75歳以上の医療費窓口負担の継続を求める陳情書に賛成する立場で討論をいたします。政府は2020年12月15日の閣議で、75歳以上の高齢者で単身者の場合、年収200万円以上、夫妻世帯の年収合計が320万円以上の場合、自己負担額を現行の1割から2割に引き上げることを決めました。高齢者の所得の8割は公的年金が占め、約7割の世帯は公的年金のみで生活しています。その年金も実質6.4%も減らされています。これが2割負担となると、必要な受診も控えることが予測されます。現在の高齢者は、

令和3年度予算に対し討論

賛成



賛成討論（後期高齢者医療特別会計予算を除く）
石渡 悦子 議員

柔軟な予算執行を期待

コロナ禍の営業自粛や厳しい経済状況下、税の減収分を見込んだ予算編成ですが、一方、成田空港機能強化策を反映し、新規事業が様々盛り込まれた増額予算です。住民生活は厳しいが、町予算は政策的経費として使える余裕のある予算と受けとめました。町の裁量権で真に住民生活を守る、柔軟な予算執行を期待いたします。子育て支援策、こども園給食費の無償化が盛り込まれ、小・中学校給食費と合わせ所得制限無し、管外委託も含めた対応は高く評価いたします。多古町成田空港東側戦略構想に基づく複合エリア、鷹ノ巣・二本松線は、新年度用地測量、不動産

鑑定等々計上され、令和4年度から用地交渉に入る予定も示されており、地元五辻区・飯世区地権者には情報を密に信頼関係を築くべく丁寧な対応を切望します。一般会計・国保会計に共通する問題では、預貯金等電子照会サービスにより、町が住民の預貯金の状況把握が可能となり、担税能力の判断・差押えの効率化を図ると表明されました。強権的になることで住民の生存権を脅かすことにならないか心配しています。コロナ禍の厳しい経済状況下、分納相談や減免等制度利用で滞納者を増やさず、町民の暮らしを思いやる町づくりを求めます。

賛成



賛成討論
行橋 千春 議員

今後に期待できる予算

昨年から続くコロナ禍の中、歳入において町税の減収が見込まれる中、ふるさと寄附金や成田空港周辺対策交付金など、大幅増の予算が組み込まれ、今後に期待できる予算になっております。歳出において、7月からのデマンドタクシーの運行の拡充で、公共交通の充実化が図られます。また、新規の事業で地域おこし協力隊、地域ブランドの作成、観光町づくり事業などが計上され、いかに多古町が観光に重点を置いているかがわかります。さらに、圏央道の開通、成田空港の機能強化そして町道鷹ノ巣・二本松線、南玉造線の改良工事事業などにより、都心へのアクセスが良くなり、多古町が推進する移住定住の促進に繋がることに期待を寄せております。また、子育て支援策で今回第1子、第2子への10万円の愛と希望の応援給付金、こども園も含めた給食費の実質無償化、18歳までの医療費無償化など、さらに子育てに対して重点が置かれた内容です。

多古中央病院事業では、コロナ禍の中での対応は大変ご苦労が御座り、西病棟の介護医療院への転換など、町にとって必要不可欠な事業です。

賛成



賛成討論
土井 清司 議員

万全の子育て支援で移住・定住促進！

成田空港周辺対策交付金は、令和2年度まで2億8千万円でありましたが、令和3年度6億円という予算を計上できましたことは成田空港と共生・共栄をスローガンとする多古町にとりまして貴重な令和3年度予算となると思います。少子高齢化が進む中、人口を増やし、町を活性化させることが多古町の最大課題だと思われれます。古民家民泊施設も完成し、芝山町との空港を見下ろす公園づくりも予算化され、大変期待されることへ、現在行われております、子育て支援策「3つのゼロ」。第3子以降出産祝い金100万円支給、それに該当しない第1子、第2子にそれぞれ10万円の出産祝金を支給する愛と希望の応援給付金に令和3年度こども園の給食費無償化を加え、充実・万全としたところへさらに地域おこし協力隊2名を配置したことは全国に子育てにやさしい多古町をPRし、若者の移住・定住を促進させたいという所町長の意気込みが伝わってきます。総体的に暮らしやすい町づくり、訪れる町としてより多くの人が選ばれる町づくりを推進する予算であることは明白であることから、令和3年度各会計予算に賛成します。